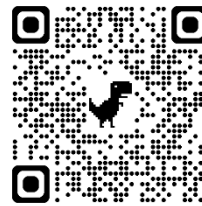


ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE Round6
スーパー耐久レース in 岡山 【ドライバーブリーフィング資料】

●別途、動画ブリーフィング資料を下記WEBサイトにアップしておりますので、必ず確認して下さい。

【動画資料URL】 <https://youtu.be/cxSbiique8-8>

【動画資料QRコード】



●本ブリーフィング資料(全3ページ)および動画資料確認後、別紙「スーパー耐久 WEB申告について」記載の
確認完了フォームより、10月24日(土) 8:00迄に資料確認申告(出席確認)を行って下さい。

【共通項目】

1. ファストピットレーンへの進入はメインポストからクラスボードが提示されてからです。
2. ピットレーンからコースインする際は、ピットレーン出口からトラック上にかけて引かれている白線を越えて走行しないこと。
3. ピットレーンでの通過速度は50km/h以下を厳守すること。
4. 走路外走行について
 - ・公式予選において走路外を走行した周回のラップタイムは無効とされ、決勝レースのグリッド決定に採用されない。
 - ・決勝レースにおいて走路外を走行しアドバンテージを得られた場合は、警告の対象となることがある。
 - 警告の後に再度走路外走行を行なった場合、ペナルティの対象となるので注意すること。
5. 黄旗区間について
 - 事故現場を確認し、減速して現場から離れたラインを走行すること。
 - 現場の状況によっては現場直前のポストと更に手前の複数ポストで同時に黄旗の表示をすることがある。
6. 何等かの原因により車両を停止する場合はコース外で走行の支障とならない安全な場所に停止すること。
7. 緊急車両等について
 - ・赤旗およびセーフティカー・FCY導入時にはレスキューカー、ETカー等がコースインすることがある。
 - ・レース中は、白旗のみの対応にてレスキューカー、ETカー等がコースインする場合がある。
8. オレンジディスクについて
 - インフォメーションパネルおよび[0]・[5]・[7.8]・[10]番ポストのライトパネル提示を行う。(旗提示の場合あり)
 - 提示された車両は直ちにピットインし車両を確認、修復すること。
9. コース上またはコース外で車両が停止し、ドライバー自身がその車両を危険となるような場所から移動できない場合、ギアをニュートラルにすること。
10. ドライバー交代時はトランスポンダーの切り替えを行って下さい。専任のトランスポンダー交換要員を設ける場合はピット監視担当のオフィシャルに事前に申し出ておいてください。燃料補給中の交換作業はスポーツ規則第18条(12)燃料補給要員と同等の耐火被服でなければならない。(レーシングスーツ着用の事)
11. 大会期間中コース状況や反則行為等などについて、競技団からチームへの連絡は、メインフラッグタワーのボード表示、ピット放送およびタイミングモニターでの表示にて行います。
12. シリーズ規則書第18条ピット作業の項目を再確認し紛らわしい作業にならないように注意をお願いします。
 - ・ガレージ内で作業後、エンジンを始動したままピットロードに出てはならない。かならずピット作業エリア内で車両の始動装置でエンジンを始動してピットロードに出て下さい。
 - ・ピットレーン作業エリアおよびピットロード上において、発火、及び火花を伴う可能性のある装置、あるいは高温を生じる装置の使用は禁止です
 - ・給油開始とは、給油装置が給油口に向かいボディーラインから隠れた状態を給油開始とみなす。給油終了は、給油装置が給油口から外れボディーラインから離れた状態を給油終了とみなす。
 - ・以前給油作業中にホースバンドが外れ、ピットレーンで車両火災が起きております。給油装置は使用毎に確認をお願いします。

【公式予選/決勝レース】

13. 予選中断における再開後の予選時間は、大会審査委員会の決定により、タイミングモニター及び放送にて周知する。
14. 決勝レースは3時間(180分)です。
 - 決勝スタートドライバー申告は公式通知に記載の締切時間迄に大会事務局にWEB申告すること。
 - ※各ドライバーの最大運転時間は当初のレース時間の55%(1時間39分=99分)となります。
 - ※Aドライバーの最低義務周回数(時間)は60分以上とする。
 - ※ドライバーの乗車時間の管理は各自ピットを基準に管理されるが、本サーキットにおける、周回数のカウント基準は、コントロールラインを基点とする。ピットレーンにおいてもコントロールラインは、コース上のコントロールライン延長線上に存在するものとみなす。
15. レース中の罰則の適用について
 - インフォメーションパネルで提示を行う。
 - ・タイムペナルティ・・・

TIME PENALTY	+	Car No.
--------------	---	---------
 - ・ドライブスルーペナルティは

DRIVE THROUGH	+	Car No.
---------------	---	---------
 - ・ペナルティストップは

PENALTY STOP	+	Car No.
--------------	---	---------

・・・『ペナルティストップエリア』はピットレーン出口右側

16. フルコースイエロー（FCY）およびセーフティカー（SC）の運用
- ・フルコースイエロー「FCY」の運用は「公式通知 No. 5」の通り運用する。
 - ・セーフティカー（SC）導入の場合は、全ポストの「SCパネル」の点滅により合図される。
 - ・SCを追い越そうグリーンシグナルで指示された車両は、SCを追い越したのち他の車両を追い越すことなく速やかに隊列の後方に整列すること。
 - ・SCが先頭車両を捕捉後にその車両がピットインをした場合はSCの直後に走行中の車両を先導車両とみなし、再スタートする。
 - ・SCがオレンジ回転灯を消灯しSCがピットイン後は、先頭車両のペースで1列縦隊にて走行する。
 - ・FCY及びSC導入中は罰則の執行を行わない、執行中にFCY及びSCが導入された場合執行は中止されFCY及びSC解除後改めてボード提示後消化する事ができる。
17. 赤旗により中断された場合
- 赤旗の運用はシリーズ規則第23条1. レースの中断、2. レースの再開に基づき行う。
- 赤旗ライン コース上……メインストレート上コントロールライン手前20m付近（公式通知 No. 2 参照）
ピットレーン…18番ピット前ピットレーン上（公式通知 No. 2 参照）
- ※赤旗先頭車両はグリッド先頭箇所（PP位置）に車両を移動し、後続車両もスタaggerドフォーメーションで、順にグリッドマークに停車すること。
- ※赤旗提示後は、ピットインできません。赤旗提示後にピットインした車両にはペナルティが課せられます。（判定はピット進入路にて12番ポスト審判員ならびに検証モニターにて判定いたします。）
- ※赤旗前にピットインしていた車両は、作業が継続できます。
- ※万が一レース中ドクターヘリの離着陸が要請された場合、赤旗でレースを中断する場合があります。
18. 競技長から事情聴取を受け、更に待機を要請されたエントラント、ドライバーはレース終了後事情確認を再度行う場合がある中で、該当チームの監督は正式結果発表までは呼び出しに備え事情聴取（待機）対象者をサーキット内に留まるよう管理しておくこと。
19. チェッカー後、全車メインストレート上に車両を進めること。（資料3/3参照）

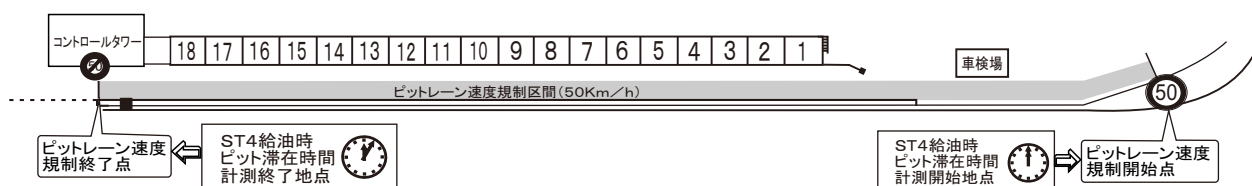
20. 【スタート進行表】

Group 2	Group 1	
□7:55	□12:50	スタートセレモニー メインストレート上でコースイン10秒前からカウントダウン。
□8:00	□12:55	インフォメーションパネルに [Group 1] or [Group 2] 提示でファストピットレーン進入可能。 それ以前にはファーストレーンに進入できません。 ピットレーン出口オープン [コースイン] ※チームクルーグリッド入場。
□8:05	□13:00	ピットレーン出口閉鎖 ピット出口閉鎖と同時にプラットホーム開口部からのグリッド進入も閉切られる。 ※グリッドウォーク入場
□8:25	□13:25	[5min] (赤4灯●●●●) ※フォーメーションラップ開始5分前 グリッドへの進入は締め切られる。これ以降は一切グリッドに車をつけることはできない。遅れた車両はピットからのスタートとなる。また、スタート5分前表示の後は、コース上における全ての作業が禁止される。ドライバー・オフィシャル・一部のチームクルーを除きグリッド上から退去する。 <u>国歌吹奏：チームクルーは起立静止でお願いします。</u>
□8:27	□13:27	[3min] (赤3灯●●●) ※フォーメーションラップ開始3分前 ドライバー、オフィシャルを除き全員グリッドから速やかに退出。
□8:29	□13:29	[1min] (赤2灯●●) ※フォーメーションラップ開始1分前 エンジン始動 グリッド上でエンジンが始動しなかったり車の異常でスタートできなくなったりしたドライバーは直ちに運転席窓を開け合図すること。スタートできない車があるときはそのポジションの横から後方のグリッドマーシャルが黄旗で合図するので後続の車両は注意してスタートすること。 [30min] (赤1灯●) この合図の後、グリッド前方で緑旗が振られ、同時に先導のオフィシャルカーを先頭に全競技車両は隊列を保ちフォーメーションラップを開始する。
□8:30	□13:30	[FORMATION LAP] (グリーンライト点灯) コントロールライン付近のコース中央にS耐TVカメラスタッフおよびオフィシャルが黄旗を提示しているので注意する事。 フォーメーションラップ中にスタート練習を行ったり著しく隊列を乱したり前車を追い越してはならず前車との間隔は出来る限り詰めるものとする。9番ポストのライトパネルで「GRID」が表示されるまでは1列縦隊で走行することが許されるが、「GRID」が提示された後は2列隊列を整える事。何らかの理由によりスタートで出遅れた車両および、フォーメーションラップ途中でスタート順序の位置を保てなかった車両は、他車を追い越すことなくグループ最後尾を走行すること。 <u>※フォーメーションラップは2周以上実施する場合がある。</u>

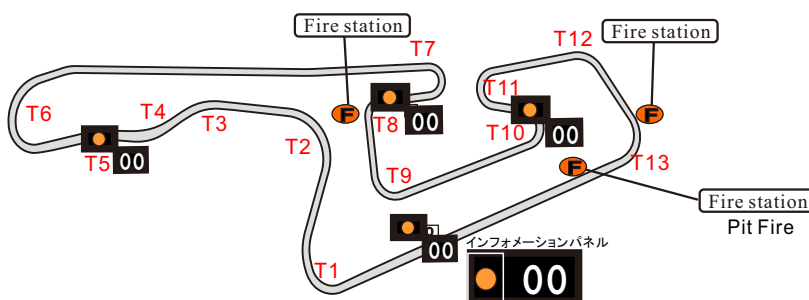
以上、特記事項の抜粋となるので、詳細はスーパー耐久シリーズ規則・大会特別規則書・H項等を確認しておくこと。

＜ピットレーン速度規制区間、オレンジディスク、セーフティカーライン、グリッドについての補足＞

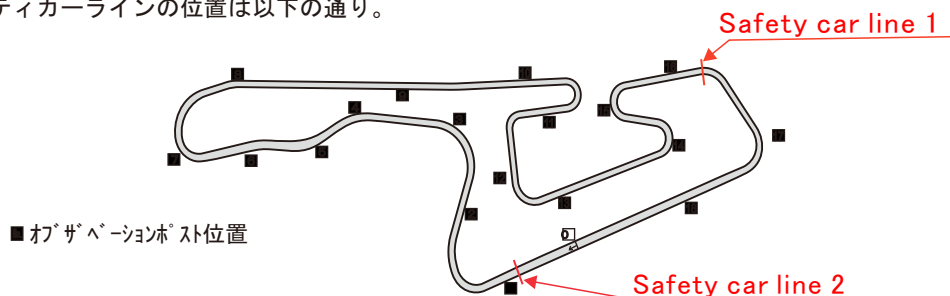
1. ピットレーン速度規制区間は、下記図の通り車検場手前50kmカンバン設置の白線から、コントロールタワー前コンクリートウォール端部の白線までとなります。
(速度規制区間の距離=394m)
※S T-4クラスで複数本数給油する場合は、大会特別規則第25条の通りとし、滞在義務時間管理はピットレーン速度規制開始ラインからピット出口のライン間で計測される。



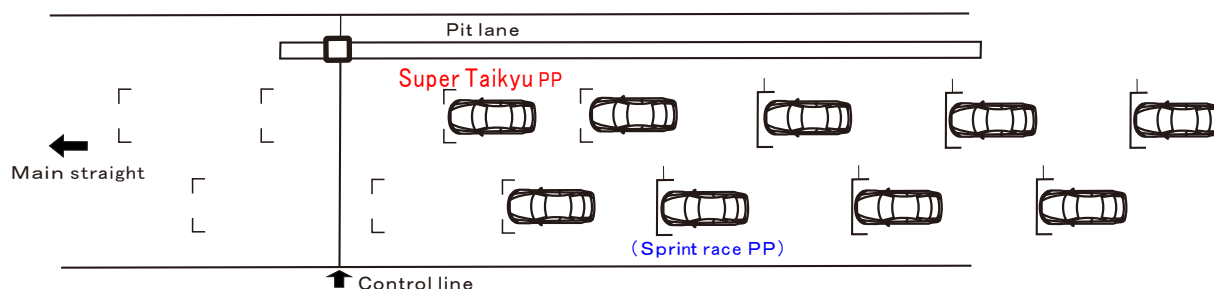
2. オレンジディスクはインフォメーションパネルおよび「0」・「5」・「7.8」・「10」ポストからも提示する場合がある。
3. 走行中車両火災に見舞われた場合は、最寄りのファイアステーションへ車両を止めること。



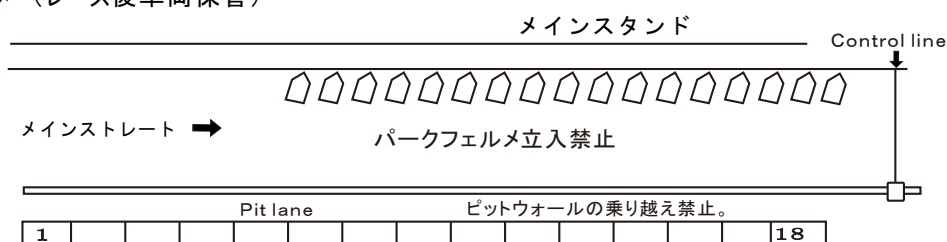
4. SC導入の合図として全ポストのライトパネルに「SC」パネルが点滅表示される。
併せてインフォメーションパネルに「SAFETY CAR DEPLOYED」表示される。
第1・第2セーフティカーラインの位置は以下の通り。



5. ダミーグリッド (スプリントレースPPから3グリッド前出し)



7. パークフェルメ (レース後車両保管)



- 競技車両は白線から出たり、離れたりしないよう整列してグランドスタンド向きに停車してください。
- 決勝レース後、メインストレート上(パークフェルメ)への立ち入りは禁止です。

★本ブリーフィング資料およびYouTube資料確認後に必ずブリーフィング視聴確認(出席確認)を行って下さい。